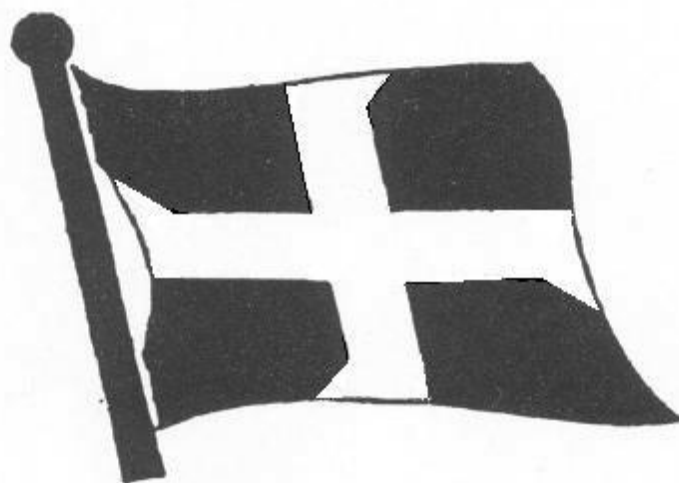


蒼穹 NEWS

NO.3

伊勢予選総括号

令和5(2023)年 6月 22日発行



—目次—

- ①主将挨拶・監督挨拶・長距離パートチーフ挨拶
- ②伊勢予選結果・総括
- ③新入部員名簿
- ④その他ご報告

① 主将挨拶・監督挨拶・長距離パートチーフ挨拶

《主将挨拶》

6月11日、全日本大学駅伝の関西地区予選会が長居第二で行われました。目標は本戦出場、すなわち4位以内でしたが、4位の関西学院大学と13分あまりの差が開いての総合8位でした。

近年、対校戦において京都大学陸上部を支えている長距離パートは、今年の丹後以来この伊勢予選での予選会突破を目指して、練習を積んできました。加えて、例年より関西インカレとの間隔が短い中で、長距離パート以外の部員も巻き込んで、まさにチーム一丸となって挑みましたが、それでも目標達成とはなりません。本戦出場を勝ち取った4校は絶対的エースのレベルも出走10人の平均的な実力も高く、関西インカレ同様、部員の全体的なレベルアップが求められている現状が浮き彫りとなりました。

今年は、三嶋(3)、稲田(2)、照山(2)、服部(2)の4人の3年生以下の選手が初めての伊勢予選を経験しました。思うようなレースができず、悔しい経験となった選手もいますが、来年以降、エースとして君臨してきた足立(M2)、柴田(M2)、鈴木(M2)が欠ける中で、チームの主力として活躍できる存在に成長することを期待しています。

京都大学陸上部全体としましては、来月に迫っている七大戦に向かって行くこととなります。目標として掲げている男女総合優勝に向けて、これまでに浮き彫りになった課題の解決を含めてチーム一同精進してまいります。

最後になりましたが、夜遅い時間にも関わらず、遠方まで熱いご声援をくださり、誠にありがとうございます。今後とも変わらぬご支援、ご声援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

京都大学陸上競技部主将 齋藤 啓

《監督挨拶》

全日本大学駅伝出場権獲得を目指し、今年も伊勢予選に挑みましたが、結果は8位と悔しいものになりました。

今年の戦い方は例年以上に勝負を仕掛けたものであったように思います。試合に至るまでの長い過程の中で、出走メンバー外の部員も含め選手たちは常に伊勢予選を意識した練習を組み立て、試合本番も本戦出場だけを目指し戦略的ペース走を遂行するなど、持てる力を全て使って挑んだ試合でした。

ただ、この試合は「勝負を仕掛けざるを得なかった」試合と言えるのかもしれませんが。例えば、もっと記録の面で力をつけておくことができれば、試合本番にとり得る選択肢が広がり、精神的にもっと優位に戦いを進めることができたのではないのでしょうか。

伊勢予選突破という大きな目標を掲げることはもちろんですが、その過程で自信を積み重ねるためにも、インカレ・七大戦・東大戦といった試合で勝ち切る・記録を出すといった過程を経ることが必要になってくるのではないかと思います。今回は 7 人の学部生が出走したのですから、今年の丹後駅伝や来年の伊勢予選に向けて、今後さらに視野を広げて練習に取り組み実力をつけていくことを期待します。

最後になりましたが、蒼穹会の皆様におかれましては現地での応援やネット配信を通じて熱い声援をいただき誠にありがとうございました。我々は引き続き全力でシーズンを戦い抜いて参りますので、どうか変わらぬご支援・ご声援をよろしくお願い申し上げます。

京都大学陸上競技部監督 仲村 快太

《長距離パートチーフ挨拶》

平素より京都大学陸上競技部をご支援いただき、誠にありがとうございます。

去る 6 月 11 日、ヤンマーフィールド長居にて行われました第 55 回全日本大学駅伝関西学連出場大学選考会にて、京都大学は 4 時間 19 分 38 秒 32 で 8 位という結果に終わりました。4 位以内、すなわち全日本大学駅伝への出場を目指して練習を重ねてまいりましたが、4 位の関西学院大学から大差をつけられての大敗でした。故障者や不調の選手が多く万全とはいえないチーム状態で臨むこととなり、終始厳しい戦いを強いられてしまいました。4 時間 08 分というタイムを突破のボーダーとして目標にしてきましたが、今や 4 時間 07 分台の大学が 5 位に終わっており、関西の上位校はこれまでになく力を伸ばしています。対する京大は来年以降、現 M2 の強い先輩方が卒業し、さらに厳しい戦いが予想されます。

しかし、初の伊勢予選を走った三嶋(3)、稲田、照山、服部(ともに 2)をはじめとして下回生の成長もまた著しく、今回の結果こそ奮わなかったものの、彼らが経験を重ね、これからの京大陸上部を引っ張っていく存在に成長することが期待されます。学部生を中心としたチーム全員が力を伸ばし、再びこの舞台に戻ることが出来るよう、パートチーフとして残された期間を、チームの成長のために精一杯尽くしてまいります。

来たる七大戦においても、長距離種目は厳しい戦いが予想されますが、七大戦で勝負ができない状態では、上位校との勝負の土俵に立つことすらできないでしょう。また、来年の関西インカレに向けても、力を伸ばし、標準突破や入賞を狙える選手が育つ環境にしていかなくてはなりません。次の試合はすぐ近くに迫っていますが、再び全員で前を向いて戦ってまいります。

最後になりましたが、例年と異なる遠地大阪での試合においても変わらぬ温かいご声援をいただいた蒼穹会の方々には心より御礼申し上げます。今後とも変わらぬご支援・ご声援をよろしくお願いいたします。

京都大学陸上競技部長距離パートチーフ 尾原 翔

②伊勢予選結果・総括

第55回全日本大学駅伝対校選手権大会 関西学連出場大学選考競技会

2023年6月11日(日)

ヤンマーフィールド長居

総合成績

大阪経済大	4:04:22.65
立命館大	4:05:00.21
関西大	4:05:41.63
関西学院大	4:06:29.52
京都産業大	4:07:45.79
びわこ学院大	4:11:25.91
同志社大	4:15:22.51
京都大	4:19:38.32
龍谷大	4:21:27.28
大阪大	4:25:10.14
神戸大	4:26:42.45
佛教大	DQ

※総合成績上位 3 チームが全日本大学駅伝、4 チームが出雲駅伝に出場する。

男子 10000m 第 1 組結果

- 1 岡 寛大 (3) 関西学院大 31:31.13
- 2 嶋田 匠海 (2) 関西大 31:37.13
- 3 木下 太成 (2) 京都産業大 31:37.49
- 4 佐藤 颯 (2) 京都産業大 31:37.49
- 5 寺谷 壮汰 (3) 大阪経済大 31:42.60
- 1 7 照山 潤 (2) 京都大 33:32.44
- 2 2 尾原 翔 (4) 京都大 34:18.15
- 2 5 服部 来羅 (2) 京都大 34:46.20

男子 10000m 第 2 組結果

- 1 茶木 涼介 (2) 立命館大 30:39.89
- 2 栗井 駿平 (3) 京都産業大 30:45.27
- 3 足立 舜 (M2) 京都大 30:46.26
- 4 伊藤 仁 (4) 関西大 30:47.13
- 5 宮川 仁 (4) 京都産業大 30:48.24
- 2 3 三嶋 友貴 (3) 京都大 33:11.07

男子 10000m 第 3 組結果

- 1 亀田 仁一路 (4) 関西大 29:48.50
- 2 中田 千太郎 (3) 立命館大 30:15.50
- 3 島野 和志 (4) 大阪経済大 30:15.90
- 4 京川 大真 (1) 大阪経済大 30:26.78
- 5 佐藤 良祐 (4) 関西学院大 30:37.23
- 2 1 江端 康汰 (4) 京都大 32:31.23
- 2 7 原 圭祐 (4) 京都大 33:33.41
- 2 9 稲田 正裕 (2) 京都大 34:43.05

男子 10000m 第 4 組結果

- 1 大森 駿斗 (3) 立命館大 29:22.60
- 2 守屋 和希 (4) 関西学院大 29:37.29
- 3 小嶋 郁依斗 (3) 京都産業大 29:37.29
- 4 新 博貴 (2) 大阪経済大 30:02.99
- 5 坂本 智基 (4) 大阪経済大 30:06.65
- 7 鈴木 洋太郎 (M2) 京都大 30:07.58
- 2 3 柴田 栗佑 (M2) 京都大 31:38.18

1組

1組には尾原(4)、照山(2)、服部(2)が出場した。3人で1キロ3'15ペースの集団走をする予定でいた。最初は集団についていたが、5周目あたりで3人は集団から離れ、そこで京大で集団走をする形になった。4000m手前から服部が離れ始め、単独走となった。尾原は苦しそうな顔を見せるも踏ん張っていたが、6000m手前でついに離れてしまった。その後は苦しい展開となったが、ラストは一周で切り替え、ゴールした。照山は、単独走になった後も粘り強い走りでのこの組の京大の中では1着でゴールした。服部は、序盤から苦しい展開となったが、集団から離れても気持ちを切らすことなく走り切った。照山、服部は初のトラック10000mで悔しい結果となったがこれからの長距離を引っ張る存在としてこの結果を受け止め、次につなげてほしい。尾原は最終学年であり最後の伊勢予選は個人としてもチームとしても悔しい結果となったので、この悔しさをこれからのトラックレース、駅伝で晴らしたい。(石原優)



2組

伊勢予選2組は足立(M2)と三嶋(3)が出走した。足立は先頭集団の中盤につけ終落着いてレースを進める。6000mで立命館大と関西大の選手が飛び出すも焦らず8000mから追いついて残り1000mで逆転しトップに立った。ラストパートで敗れて3着でゴールしたが、貫禄のレース運びだった。三嶋は2400mまで先頭集団に食らいつくがその後は単独走に。PBからしても悔しいタイムとなったが、間違いなく今後チームを引っ張っていく選手。悔しさを晴らす活躍を期待したい。(千代田)



3組

3組には江端(4)原(4)稲田(2)が出場した。3人は3'10で集団走をする予定で、稲田が序盤出来る限り引っ張り、そこからは余裕のある人が引っ張ることになっていた。3人は集団後方につき、作戦通り稲田が2000mまで引っ張り、その後は江端が前に出た。稲田は2000m以降集団から離れてしまった。江端原は途中まで2人で進めるも、5000m辺りで原が遅れ、3人ともに単独走となった。江端はその後もなんとか

粘り、この大舞台で見事自己ベストを更新した。原は単独走になった後ペースが落ちてしまい、悔しい結果となった。稲田は直前にコロナ感染の影響もあり、苦しい展開だった。(石原優)



4 組

4 組には、鈴木(M2)、柴田(M2)が出場した。序盤から立命の選手が 1 人飛び出したものの、その他の選手で第 2 集団をつくり、鈴木は集団前方、柴田は後方に位置し、レースが進んだ。3'00/km の安定したペースで進む中徐々に振り落とされる選手が出始めた。4000m 付近で集団が 3 つに分かれ、鈴木は第 2 集団のまま、柴田は第 4 集団に位置した。第 2 集団は 5000m 過ぎで関西学院の選手がペースアップし離れる選手も出てきたものの、鈴木は安定した走りを見せ、その集団についていった。8000m 手前から差が開いた後は一時単独にもなり苦しい走りとなったが、後方から来た集団を利用し、最後まで粘り、見事 PB となる 7 着 30'07"58 という好記録を出してみせた。一方柴田は 6000m 付近で第 4 集団からも離れ、単独走を強いられる苦しい展開となったものの、他大の集団から落ちてきた選手を拾いつつ、最後まで前を追い続け

てみせた。結果は 23 着 31'38"18 となった。両者とも伊勢予選を最後まで目指す思いが強く伝わってくるレースであった。(伊藤)



③新入部員名簿

名前	出身校	パート	種目	PB
阿部陽葵	西京	中距離	400/800	50' 16/1' 55"77
有村実寿々	筑波大学附属	マネトレ	100/200	11.83/24.58
池上孟志	山手学院	短距離	100/200/400	11.09/22.55/54.35
磯辺旺人	盛岡第三	マネトレ	-	-
大西智貴	大手前	中距離	1500	4' 13"67
奥村恵美	愛知県立旭丘	短距離	100/200	12.67/26.95
亀井真希	松山北	投擲	やり投	37m74
川崎健太郎	灘	中距離	800/1500	2' 01"16/4' 22"27
木下賀貴	奈良学園登美ヶ丘	投擲	やり投	47m85
熊谷萌花	洛西	中距離	-	-
佐向丘	天王寺	長距離	1500/5000	4' 28"5/16' 39"01
柴折心汰	堀川	中距離	800/1500	2' 01"67/4' 11"24
清水太一	修猷館	短距離	100	11.73
鈴木理央	彦根東	マネトレ	-	-
田島悠暉	一宮	マネトレ	-	-
舘玲於奈	富山第一	跳躍	-	-
竹生晴彦	藤島	跳躍	三段跳/走幅跳	13m57/5m49
土田浩生	岡山操山	競歩	5000mW/10000mW	22' 23"04/49' 53"00
東條純平	広島学院高校	長距離	1500/5000	4' 42"01/18' 06"24
中川雄稀	西京	短距離	100/200	11.72/23.54
服部颯希	高岡	中距離	800	2' 19"62
濱口姫生	田辺	長距離	1500/3000	4' 31"98/9' 51"64
林宏太郎	加古川東	短距離	100/200	11.30/22.92
馬場万鈴	ノートルダム女子	マネトレ	-	-
藤本佳千	尾道北	短距離	200/走幅跳	26.52/5m63

見崎太郎	駒場東邦	学連員	-	-
八木皓星	天王寺	長距離	1500/5000	4' 17"05/16' 34"68
山本葵生	東海大仰星	長距離	-	-

④その他ご報告

この度、蒸し暑く、また夜遅くにもかかわらずお越しいただきました OB・OG の皆様の名簿を以下に掲載させていただきます。尚、お越しいただいたにもかかわらずお名前がない方々につきましてはこの場を借りてお詫び申し上げます。

森本正幸 (S41)

中村茂夫 (S48)

下迫田啓太 (H28)

柴田裕平 (H30)

足立大宜 (H30)

谷口博紀 (H31)

川井拓哉 (H31)

吉村柊太 (R2)

津吉順平 (R3)

(敬省略)



蒼穹ニュース 令和5年度 第3号
令和 5年 6月22日発行

発行所:京都大学体育会陸上競技部
編集者:白星祥吾・田中颯真・平松藍(副務)
特別協力:高山兼輔・平林里和子(学連員)
写真担当:川瀬稔己・伊藤寿真・照山潤

陸上競技部 HP <http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/>
陸上競技部記録 HP <http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/kiroku.htm>
関西学連 HP <http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm>
メールアドレス shirahoshi.shougo.56f@st.kyoto-u.ac.jp (白星)